

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第252号	
事故等名	衝突	
発生年月日時刻	平成21年5月30日 18時30分ごろ	
発生場所	鳥取県鳥取市 鳥取港第一防波堤灯台から真方位283° 1,450m付近（概位 北緯35° 33.4′ 東経134° 10.6′）	
事故等調査の経過	平成21年9月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 第三 <sup>かすが</sup> 春日丸、4.8トン TT3-8818（漁船登録番号）、個人所有 B 漁船 清 <sup>せいこう</sup> 幸丸、4.7トン TT3-5786（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 B 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	船長B：急性呼吸不全・顔面打撲等	
損傷	A 船首外板に破口 B 左舷外板にき裂	
事故等の経過	A船は、船長Aほか1人が乗り組み、鳥取港港外を北進中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、同港外で船首を西方に向け、一本釣りのため錨泊中、平成21年5月30日18時30分ごろ、A船の船首部とB船の左舷側とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期、海上 平穏 日没：19時12分	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 船長Aは、鳥取港港外を北進中、操船しながらレーダーの調整を行い、前方の適切な見張りを行わなかったため、前路で錨泊中のB船に気付かなかったものと考えられる。 船長Bは、錨泊中に右舷側を向いて座り、釣りに集中して、周囲の見張りを行わなかったため、左舷側から接近するA船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、鳥取港港外において、A船が北進中、B船が錨泊中、船長Aが前方の適切な見張りを行わなかったため、前路のB船に気付かず航行し、また、船長Bが周囲の見張りを行わなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	